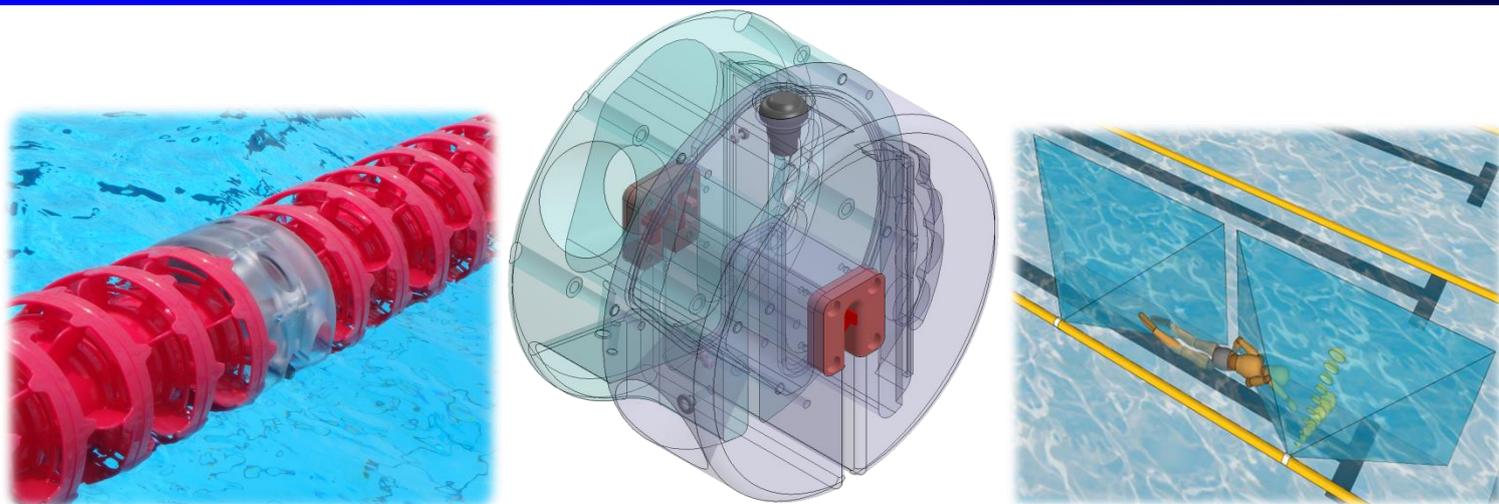


競泳選手壁接近検知システム **KS-3**

特許取得：特許第6760599号



概要

競泳選手壁接近検知システムは、視覚障がいを持つ競泳選手の練習用に開発したサポート器具です。選手の通過をカメラによりリアルタイム監視を行い、当該箇所の通過タイミングで音により選手にターンポイントを通知します。

従来のタッピング棒によるコーチのタッピング通知を自動化することで、コーチの負担を減らし、選手の自主的な練習をサポートします。

構成

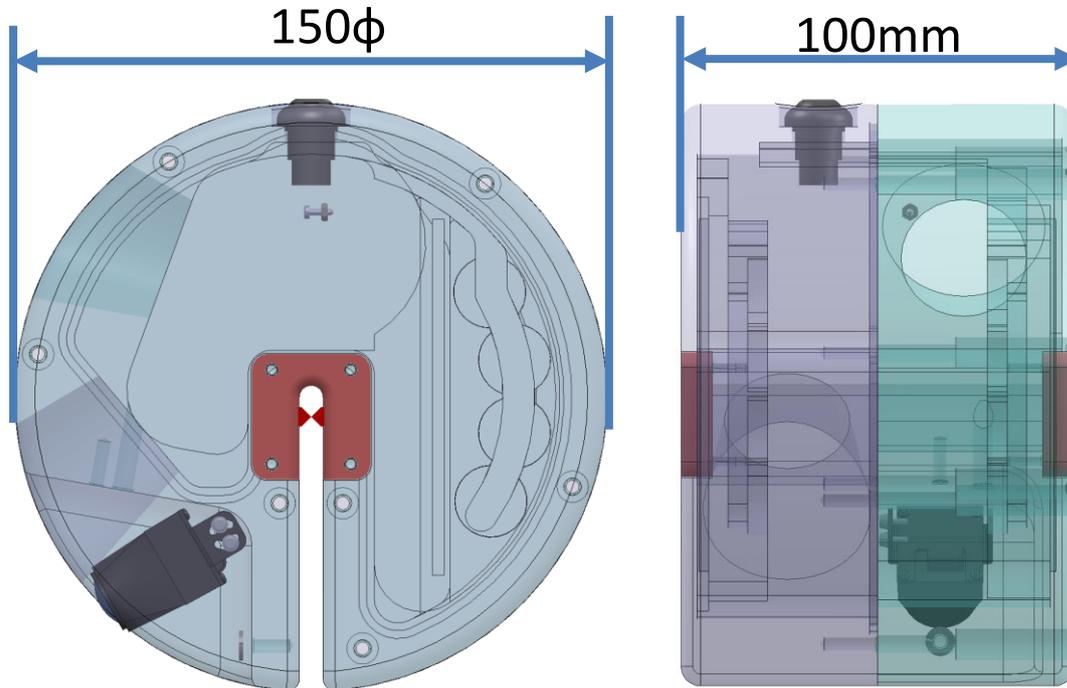
1コース分1セット構成

- フロート型検知システム 4個 (ターンポイント5m手前/2m手前に往復設置)
- 無線充電機能付きキャリーケース 1個
- コンソール用タブレット型PC 1台 (専用設定アプリケーションインストール済)
- Wi-Fi親機 1台

特徴

- ・日本水泳連盟公認のフロートとサイズ(直径、幅)が同じであり丸みを帯びた形であるため、公認プールへの設置も容易であり、選手の安全性も保たれます。
- ・ラッチ構造の採用により、レーンロープにワンタッチでの取り付け/取り外しが可能です。
- ・超広角低歪曲カメラの採用により、狭いコース内で精度の良い検知が可能です。
- ・最適な重量配分/空気室設計により、回転を抑制し常に安定した通知が可能です。
- ・水面下/水面上にそれぞれスピーカーを搭載することにより、選手の通知音聞きこぼしを防止します。
- ・内蔵の専用ボードにより下記機能のリアルタイム処理を行い、検知したい選手以外を誤検知してしまうことを防ぎます。
 - ・揺れのキャンセル機能
 - ・通過方向検知機能(逆方向通過時は検知しない)
 - ・泡や水面上の物体を検知し泳者と識別する機能
- ・使用時は天頂部のスイッチを押下するだけで起動し、起動音鳴動により正常起動を通知します。
- ・充電は非接触充電で行えるため、フロート型検知システム本体にコネクタ等の端子構造が無く、防水性や選手の衝突安全性が保てます。
- ・キャリーケース内には専用非接触充電台 兼 収納ケースが内蔵されており、フロート型検知システム本体を充電台に置き充電台のケーブルをAC100Vに接続するだけで充電を行えます。
- ・Wi-Fi経由のタブレットPCにより、機器のステータス確認や各種設定が可能。
- ・慶應義塾大学SFC研究所との共同研究により開発。
- ・特許取得(特許第6760599号)

外観図



構成

1コース分セット内容

| 項目 | 数量 | 備考 |
|-----------------|----|------------------|
| フロート型検知システム | 4 | 1レーン4個使用 |
| 無線充電機能付きキャリーケース | 1 | |
| コンソール用タブレットPC | 1 | |
| コンソール用ソフトウェア | 1 | タブレットPCにインストール済み |
| Wi-Fi親機 | 1 | |